

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	建築コスト小委員会	主 査 名：岩松準 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：古阪秀三 主 査 名：
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、建築プロジェクトの価値とは何で、それを如何にして高めるかについて、生産コスト、積算技術、コンストラクション・マネジメント、建築ライフサイクル、サプライチェーン、ファイナンス、発注調達方式、経済・市場、生産技術の革新など、多様な切り口から調査分析することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「建築コスト七不思議 Q&A 集」の作成 2. 明治大正昭和期の建築経済、建築生産、産業組織、積算システム等の調査研究 3. 先進諸外国の建築コスト管理等の調査研究 4. 建築コスト情報のあり方についての研究 	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>岩松準(主査；建築コスト管理システム研究所)、橋本真一(幹事；建設物価調査会)、木本健二(幹事；芝浦工業大学)、磯部正(国土交通省)、伊藤一義((株)日本設計)、遠藤和義(工学院大学)、大島和義(ナカノフドー建設)、奥山裕史(三井造船)、楠山登喜雄(フタバエンジニアリング)、須田松次郎(建築研究開発コンソーシアム)、中山志メ松(日本設計コスト)、原田誠(OPM)、松本光平(明海大学名誉教授)、宮内徹(建築保全センター)、山崎弘貴(フタバエンジニアリング)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2008 年度予算	5,0000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keizai/cost/

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1 .

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年度に引き続き、当小委員会の当面の懸案である「建築コスト七不思議」について数回にわたり集中的な討議を行い、個別テーマについて議論を深めた(内容は施工段階・設計者のコストコントロール、コスト管理業務マトリクス、目次検討など)。またQ & Aの形式でまとめた資料集のドラフトを作成した。次年度は報告書等としてまとめ、WS等を開催する予定である。 2. 五重塔の建設コスト、ダンピング問題、単品スライド、PAQS2008会議(カナダで開催;当小委員会から2名参加)、英国のQSやRICSの動向について、サウジアラビアの建設事情、東京駅建設の歴史、その他のテーマに関して、議論と情報交換を行った。 3. そのほか、本委員会改名の件について議論、ホームページの更新を行った
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建築コスト七不思議 Q&A集(第1版)の完成、WSの開催 2. 外部(国内外)との情報交換(とくに情報発信が不足) 3. 積算職能の国際比較、建築コスト情報のあり方等についての研究

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。